

羽が絡まったカラスが…

朝の畑。
軽トラで“となりの畑”に沿って道路を走って行くと、タマネギのうねの横に何か黒い影が??
遠くてよく見えないけれど、空には十数羽のカラス。
木の上にも何羽かのカラスが見えました。

カラスがタマネギの苗を抜いているといけないので、その後、Tonchanが歩いて見回りに行くと、カラス除けの黒い釣り糸に羽が絡まってしまったカラスが…!!

苗を抜いたり、カブをつついて食べたり、マルチをつついて穴を開けたりと、何もいいことをしていないカラスですが、やさしいTonchanは、羽に絡まった釣り糸を切って、逃がしてやりました。

(続きはウラに…)



〈ん？ 何???〉

11月20日の朝、カラス除けの黒い釣り糸に羽が絡まってしまっていたカラス。カラスがこんな格好でいることはないので、遠くからは黒い影のように見えました。飛べないので、マルチをツツツツついたり、タマネギの苗の上で暴れたり。

白菜の収穫が始まりました

この秋は、比較的暖かい秋でした。初めて作ってみた早生の黄芯の白菜は、11月末から収穫が始まりました。露地のカブは、いつもよりグンと大きくなっています。

今年もたくさんの“おいしい”の声をありがとうございました。スイートコーン、ミニトマト、クッキングトマト、オクラ、落花生、サトイモ、ゴボウ、太ネギ、白菜、カブ…など、おいしく食べてくださって本当にうれしく思います。

12月になると、ハウスの中のピーマンを片付けて、2月末ごろから収穫する葉物野菜の苗を植えます。これからも、一年を通して安心して食べることのできるおいしい野菜をお届けできるよう、工夫を重ねていきます。



〈スナップエンドウ〉

スナップエンドウは、きれいに芽が出そろいました。が、グリーンピースの芽が出ていません。さてさて、どうしたものか…。

〈12月の野菜〉

□露地の畑では、白菜の収穫が始まっています。
人参、ネギ、大浦太ゴボウ、カブ、サトイモなどが収穫中です。
大根や赤大根、黒丸大根、紅心大根、辛味大根などの収穫が始まります。

□ハウスの中では、小松菜や水菜、ハウレン草、赤茎ハウレンソウ、わさび菜、リアスからし菜、小カブなどが収穫中です。



年末年始のお休みについて

12月29日(土)から1月4日(金)まで
野菜の出荷をお休みさせていただきます。

野菜セットのお休み・変更などありましたら、一週間前までにお知らせさせていただきますよう、お願いいたします。

今年も一年間、お世話になりました。
新しい年もどうぞよろしくお願いいたします。

〈キャベツの死体?!〉

7月初めに種をまき、8月に定植したキャベツ、収穫です。
畑にやって来た3才のかわいい男の子が、収穫したキャベツの外葉を見つけて言いました。
「キャー、キャベツの死体がある！」

カラス！

カラスが絡まった

ある朝畑に行くとき、翼をカラス除けの黒い釣り糸に絡ませたカラスが、逃げようともがいていました。

このままにしておけば、無理をして翼を傷めるか、餌が採れず餓死してしまうかのどちらかなので、逃がしてやることにしたのですが、近づけば暴れてかえってけがをさせてしまいそうです。6年前に、同じように釣り糸に絡まったフクロウを助けたことを思い出しながら、ブルーシートですっぽりと覆っておとなしくなったところで、ハサミを使って絡まった糸を取り除きました。シートを外してやると、大きなけがをした様子もなく元気に飛んでいきました。

カラスは賢く、個人の区別もでき、記憶力も良いそうなので、「助けてくれたいい人」と認識してくれたのでしょうか？ それとも、「怖いことをする悪い人」と思ったのでしょうか？



6年ほど前に、今回のカラスと同じように釣り糸に絡まっていたフクロウ。

カラスの種類

カラスは、スズメ目カラス科カラス族の鳥で、国際鳥類学会によると46種いるそうですが、そのうち日常的に見られるのは留鳥のハシブトガラスとハシボソガラスの2種です。その他に日本で見られるカラスは、北海道東部や北部にワタリガラス、九州の平地にミヤマガラス、西日本にコクマルガラスが、いずれも冬鳥として渡来します。

畑には、ハシブトガラス、ハシボソガラスの両方がいます。別々に群れてカラス同士でけんかしている様子はなく、両者入り混じって仲良く畑にいます。

カラスの群れ

昼間は、数羽のカラスが畑にいて、トラクタの後をついて歩いたり、近くの電柱の上で鳴いたりしていますが、朝夕には畑の周りの木や、電線にたくさんのカラスがとまって、やかましく鳴いています。

繁殖期のカラスは、なわばりを持っていて、その中で寝ますが、繁殖期前の若い個体や、つがいの相手がないカラスは年中集団でねぐらを持ち、夜はそこで寝ているそうです。

カラスは、ねぐらの安全を周囲から確認し、集団になってねぐらに移動する習性があり、夕方、畑周辺にカラスが群れるのはそのためでしょうか？ だとすれば、近くにカラスのねぐらがありそうです。

ハシブトカラス、ハシボソカラスが同じ場所にねぐらをつくることも多いそうなので、私たちの畑のカラスもそうなのかもしれません。

カラスと仲良くなりたい

米シアトルのワシントン大学の研究によると、アメリカガラスは、自分が体験したこと、親から子への情報伝達、他のカラスたちとの情報交換という、3つの情報を扱う能力があるそうで、一羽のカラスに危害を加えると、他のカラスにも「危害を加える人物」としての情報が伝わり、多くのカラスから威嚇行動の対象となるそうです。できれば、「いい人(危険でない人)」という認識がカラスの間に広まってくれればいいなと思います。



シートを掛けるとおとなしくなるので、翼だけシートから出して、絡まった釣り糸を外しました。

■ カラスの分類上の位置

綱	目	科	属	種	学名
鳥綱	スズメ目	カラス科 「からす」	カラス属	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>
				ハシブトガラス	<i>C. macrorhynchos</i>
				ミヤマガラス	<i>C. frugilegus</i>
				ワタリガラス	<i>C. corax</i>
				コクマルガラス	<i>C. dauuricus</i>
			カケス属	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>
				ルリカケス	<i>G. lidthi</i>
			オナガ属	オナガ	<i>Cynopica cyana</i>
			カササギ属	カササギ	<i>Pica pica</i>
			ホシガラス属	ホシガラス	<i>Nucifraga caryocatactes</i>



ねぐらから出てきて餌探しに行く前の休憩でしょうか？ この後、どこかへ散らばっていきました。